

再意見提出フォーマット

再意見提出者	日本舞台音響家協会
--------	-----------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015 年ごろや 2020 年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

複数のサービスやシステムについてご回答される場合は、それぞれ別々のフォーマットに記入してください（できるだけイメージ図等を加えてください。）。

意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容
40 58	日本舞台音響家協会	私たちは舞台（劇場、ドーム、アリーナ 他イベントスペースなどの公共施設）、テレビ、映画などの放送番組制作に益することを目的にワイヤレスマイクを使用しています。これはA型ラジオマイクとして免許されたものです。現在では約1万台超のワイヤレスマイクが日本全国を固定局あるいは移動局として活躍しています。その運用調整は特定ラジオマイク利用者連盟を拠点としていますが、年間平均約14万件（観客など受益者は延べ1千倍）に達します。この数字はワイヤレスマイクの利用が安定して行われていることの証左であり、当初の目的を十分に果たしていること、また文化的産業に資していることの証であると考えます。このような状況から、現在のA型ラジオマイクとして特定されている周波数帯（今回デジタル化を見据えた全ての周波数帯）から移動するには相当な時間と費用が

		予測されます。日本舞台音響家協会としては、いずれの事由によるものであれ、周波数帯の移動には応ずることは不可能であることを申し述べます。
--	--	---